



# 山行報告



## ■高御位山縦走(脚力・歩荷トレーニング)

- 日 程：1月13日(土)
- 参加者：L赤木 SL森本 西口 藤原(浩) 前川(克) 松本 森下 矢根

- 行動記録：J R曾根駅 8:55 発～豆崎登山口(9:00 着)～地徳山(9:50 着)9:55 発～鷹巣山(10:15 着)10:20 発～高御位山(11:40 着・昼食)12:10 発～北山奥山 12:55～分岐 13:05～辻登山口 13:40～J R宝殿駅 14:20

### ◆◆高御位山縦走 脚力・歩荷トレーニングに参加して 松本

脚力・歩荷トレーニングの一環として高御位山縦走に参加した。高御位山縦走も種々コースはある様だが今回は今年の夏に参加するも酷暑の為、当初のトレーニングコース変更を余儀なくされたJ R曾根駅～豆崎登山口～大平山～地徳山～鷹の巣山～高御位山～北山奥山～辻登山口～J R宝殿駅へのコースである。

参加者8名がJ R曾根駅に8:45集合。この冬一番の寒気団の流入により当日も氷点下の寒い朝となった。駅舎から一歩出ると凍える様な寒風が吹いている。サブリーダーの指導によりストレッチを入念に実施し9時前にスタートした。



国道2号線の歩道橋を渡り新しい豆崎登山口へと向かう。ここで山登り前の元気な姿をカメラに納める。落ち葉の多い登山道を登っていくと地肌が見える足元に霜柱があり冬の寒さを実感する。とは言え徐々に体が温まっているせいか段々と程良く心地良い登りになる。リーダーの「温度調節をしましょう」の掛け声で上着を取り体勢を整え黙々と登山道を歩いて行く。

大平山～地徳山を過ぎた下り道では登山道の日陰の岩に氷が張っており滑らない様に慎重に足場を確保しながら歩く。スタートから約1時間程度で鹿嶋神社登山口への分岐に到着。昨年夏はここまで来るのに水分補給をしながら何度か小休憩して来た記憶があるが流石に今の季節だと休憩無しでも一気に来る事が出来た。設置されている標識では高御位山山頂まで1時間30分と有り今のペースで行ければ予定通り高御位山山頂での昼食となりそうである。

難関である百間岩を登り切り電波反射板の在る展望ポイントで小休憩する。見上げる空は冬の

青空で清々しいが若干の冷たい風もあり体を冷やさない様に上着を羽織る。鷹の巣山から前回トレーニングでは下る事になった馬の背分岐まで快調に歩く。寒気団の影響で少し寒いが土曜日&快晴という事も有るのか多くの登山者とすれ違い挨拶をしながら着々と歩いて行く。

月例会清掃登山の西コース、東コース分岐のいつもの休憩地点に到着し小休憩、「温度調節」をする。西南方向には歩いて来た地徳山、大平山が見える。あの辺りからここまで来たのかとトレーニング途中ではあるがほんの少しだけ気持ちが楽になる。更に高御位山山頂に向かって進んで行くが少し気温が上がった為なのか陽当たりの良い登山道の霜柱が解けて足元が悪い。少し歩きにくいながらもこれもトレーニングの試練である。

黙々と歩き漸くほぼ予定通りの11時半過ぎに高御位山山頂へ到着。岩場に座り昼食とするが冷たい風が吹き抜けており、手が凍える様に冷たい。ポットで持って来た温かいお茶を飲むとホッとして体も温まる。昼食後、山頂神社前で居合わせた登山者の方をお願いして全員笑顔(!?)の集合写真を撮って貰い、12時過ぎに再出発し下山先の辻登山口を目指す。

何度かのアップダウンを経ながら1時間程歩いて北山奥山の分岐につく。確か高御位山山頂から此处までは2年半程前の夏に「初めての山歩き教室」で教室生として歩いた懐かしいコースだった事を思い出した。ここまでの冬場の登山道は既に霜柱も完全に解けており歩きにくい。

歴史を感じさせる米相場中継所跡、太閤岩を過ぎてふと振り返ると高御位山山頂からこちらに向かう下りのルートが随分と遠くに見える。あそこから歩いて来たのだと妙に感慨深くなる。

13時半過ぎに辻登山口に全員無事に到着。最終仕上げのストレッチも朝の出発時と同様にサブリーダーの指導でしっかりと筋肉をほぐして本日のトレーニング山行を終えた。

休憩も入れて約5時間弱、登山道にアップダウンのある歩き応え十分のコースであった。夏、冬と季節が違うとは言え昨年夏には出来なかった豆崎登山口～辻登山口までの脚力・歩荷トレーニングの完走が今回は無事に出来て良かった。また高御位山の奥深さも実感させて貰い、次へのトレーニング参加意欲も湧いた。

最後に赤木リーダー、参加の皆様 大変お疲れ様でした。有難うございました。



## ■冬の京都 愛宕山(924m) 女性委員会山行

- 日 程：1月21日(日)
- 参加者：L尾越 SL三木(悦) 尾内 香川 垣内 河合 木村 田羅間 西口 安田 矢根

- 行動記録：清滝9:25発～お助け水9:45～五合目10:35～水尾別れ11:00～愛宕神社(12:00着・昼食)12:30発～月輪寺13:20～清滝14:45

### ♣♣愛宕山～月輪寺～平野屋

雪景色を期待していたが、愛宕山(924m)登山口の温度計は外気温4℃を示す。薄陽を受けながら鳥居をくぐり9時半出発する。清滝で一緒にバスを下車した登山客の団体を抜かし、抜かされしながら杉木立の登山道をひたすら登る。火伏せの神である愛宕神社の総本社があり、人々はお札を受けに参詣している。櫛しんの束を抱えている人もいた。

歩いてしか神社までたどりつかない厳しい登りは約4km続く。嵯峨消防分団の標識が100m毎に設置されて

### 河合



いるので、現在地が把握しやすい。また1丁毎に地蔵が置かれ50丁で神社につく。真っ赤な涎掛けと造花は殺風景な参道を華やかにしている。元気な小学生3人組が坂を走って上がり、休んではまた走りゲーム感覚で楽しんでいる。

こちらは一段一段喘ぎながら、11時半頃やっつとに黒門についた。「あと少しよ！」と言う声がした。だがここから段差のある急な石段が続き前方を観たくなる。広い境内に入ると数基の大きな石灯籠や桜並木があり、石段を上がると厳かな素朴な造りの愛宕神社がある。残雪は無いが山頂は風が冷たく寒い。お参りを済ませストーブのある休憩所で昼食をとる。体が温まり有り難かった。

月輪寺に向かう。愛宕神社横から坂道を30分程下ると法然ゆかりの月輪寺が狭い参道と山にへばりつくようにある。境内に天然記念物の石楠花があり、横には立派な宝物館がある。眼下には京都の街並みが広がる。山深く表参道のような賑わいもなく、狭い登山道をジグザグと下るのみ。空也の滝は寄らず、清滝バス停へと急ぎ3時頃に下山する。ストレッチを済ませバスで愛宕街道にある平野屋に向かう。

平野屋は尋ねたかった茶店です。日本風景街道に選定されたようで、何十年前の印象と変わらず、来てよかったと思いました。落ち着いた離れの広間で、大根炊きを食しながら卓上の炭



火でお餅を焼き、火鉢を囲んで焼いていた頃を懐かしく思いました。女将さんが丁寧に焼かれるお餅はふっくらと美味しく、時間の贅沢を貰いました。お抹茶とお茶請けの柚子しぐれの一杯にほっこりさせられる。そして何より女将さんが話される京ことばの優しさは癒されます。

平野屋を愛した白洲正子を接待された女将さんから聞いた話は、文字からでしか知らない私に時代をタイムスリップさせた。



## ■数曾寺(すそーじ)山塊(450m) 加東市

- 日 程：1月24日(水)
- 参加者：L須増 SL瀧原 赤木 大谷 垣内 西口 福田 藤原(浩) 本田

- 行動記録：三草山駐車場9:10発～山口公民館駐車場(9:15着)9:30発～取付き(9:47着)9:50発～ケルン(10:15着)～298mピーク(10:30着)10:40発～キレット(10:50着)10:55発～299mピーク(11:35着)～#165鉄塔(11:45着・昼食)12:20発～数曾寺峠(12:35着)12:40発～大坂山(13:30着)13:40発～#167紅白鉄塔(14:00着)14:05発～324mピーク～下降分岐～数曾寺谷分岐(14:35着)～やしろ台管理道路(15:00着)～山口公民館駐車場(15:10着・ストレッチ)

## ♣♣大切にしておいた1枚のコピー 数曾寺山塊 福田

山行計画委員の方から希望する山を聞いてくださるメールがあり、喜んでいつかは行ってみようと思っていた山をいくつか挙げてみましたが、こんなにも早く実現するなんて・・・

手元にある資料に、今回の数曾寺山塊は「岩・藪・展望を満喫する玄人好みの名低山」と紹介されています。まず、麓にある山口公民館へ駐車しストレッチ。時刻は朝の9時過ぎですが



じっとしてられない程の寒さが足元から這い上がってきます。早々に準備して登山スタートです。

別荘地の最上部、小広場の踏み込みから藪に入っていくとやがて展望の良い岩尾根に出ます。

ケルンのあるピークを越すと298mピークに到着。ここまでのルートは藪か岩場、そして寒波到来で風が強く空気が澄み渡り明石大橋まで見渡せる眺望！まさに紹介文通り。楽しい！！

両サイドが切れ落ちたキレットを渡り、2つ目のピークが299mピーク。お昼時ですが風のないところを探して少し先の鉄塔まで進んでランチタイムです。ここからは鉄塔の巡視路にもなっているため少し道が開けています。

峠からショートカットして下山するプランもありましたが、全員やる気アップで予定通り大坂山目指します。山頂につくと地元の宇仁山友会の方が山の案内板を今月7日に設置されていました。

巡視路から数曾寺谷へ下り、数曾寺池まで行くとあとは車道です。そう人の多く登らないマイナーな山でしたが無事、計画通りルートを歩くことができました。

コースの設定・下見・準備とあまり資料の無いなかリーダーさん、山行計画委員のみなさんありがとうございます。これからもどんどんリクエストいきますね！



## ■摩耶山(698.6m) ゆっくりリズム山行 1000万ドルの夜景を見に行こう

- 日 程：1月27日(土)
- 参加者：L藤原(千) SL垣内 小田 乙坂 澤田(卓) 澤田(律) 砂川(延) 土井 舛賀 松浦

- 行動記録：新神戸駅 13:35 発～みはらし展望台(14:05 着) 14:10 発～市ヶ原(14:45 着) 14:50 発～学校林道分岐(16:00 着) 16:10 発～掬星台(17:10 着) 18:30 発～摩耶ケーブル下(19:00 着)

### ♣♣摩耶山掬星台1000万ドルの夜景見て来ました

小田



雪がちらちらしていましたが、歩き始めたらジャケットも要らない良いお天気に。

新神戸駅から少し上がった所でストレッチをして、布引の滝、展望休憩所、布引貯水池、市ヶ原へ。

ここからが本格的な山登りの始まりと聞いて「えっ」これからが・・・その通りでした。稲妻坂、天狗道、結構きつい上りを頑張って登りました。岩場が出てきて楽しみながら登っていたら、掬星台に暗くなる前に到着。

山の中はうっすらと白くて雪山を歩いているような。木にコツコツの音にリーダーさんが気付いて見ると鳥が、多分「コゲラ」だったのでは？頂上は雪があつて滑りそうで、5分と外に居られない寒さでした。喫茶店でお茶を飲んでいたら、

外は1000万ドルの夜景に思わず「わぁー綺麗！！」ここは函館山、稲佐山、掬星台と日本三大夜景のひとつだそうです。下山はロープウェイ、ケーブルカーで下りて来ました。

ありがとうございました。



## ■夕陽ヶ山(善防)

- 日 程：1月28日(日)
- 参加者：L 藤本 SL 赤木 内海 木下 笹木 島谷 関山 瀧原 田中(重)  
田中(美) 田中(由) 徳本 苦瓜 西脇 平石 森下 山本(清)  
山本(正一) 吉村

- 行動記録：古法華自然公園 9:10 発～夕陽ヶ山登山口(9:20 着)～夕陽ヶ山(9:50 着)9:55 発～馬の背下の峠(11:20 着)～吊橋(11:55 着)～古法華寺(12:05 着)12:25 発～古法華自然公園(13:00 着)

### ♣♣藪漕ぎあり、岩稜あり、見晴らしよし、夕陽ヶ山 笹木

加西アルプスは初めてで、「藪漕ぎあり」と聞いて、ちょっと身構えていた。まずは集合場所からすぐ前にそびえる夕陽ヶ山に登る。メインの山に一番に登ると言うのも珍しい。

登山口とはわからないような木立の分け目から山に入り、結構急な斜面を登ると、ほどなく膝丈くらいのシダが茂る道に出た。最初の藪を漕ぎながら登る。登りだからいいけど下りだとズルズルと滑り落ちそうな斜面だった。

すぐに眺望が開け、尾根にたどりつくると右手に372号線の街並み、左手には古法華に至る大柳ダムや笠松山、前に善防山、はるか遠くに雪を抱いた山(千ヶ峰?)が見え、なかなかの眺望。

さらに展望の良さそうな笠松山やそこに至る馬の背は、善防土曜トレで登るコースとのこと、次の楽しみが出来た。

11時頃から雪が降り始めたが、それも楽しみながら山から山へ登って下りて、道に張り出している山つつじや野イバラに服や帽子を引っ掛けないように注意しながら、腰丈ほどの藪も漕ぎ、鎖のついた岩稜も登った。そこから山を下って古法華寺に着いたのが丁度12時。

大きなボタン雪が舞う中、縁石に皆一列に並んで座ってお弁当を食べた。後は地道を下り、30分ほどで駐車場へ帰ってきた。

途中のキャンプ場で大きなテント設営を見つけ、皆吸い寄せられるように近寄って中を見せてもらう。テント内は間仕切りがあり、小さい方の部屋から子供たちが顔を覗かせていた。他方の部屋はリビング様で、薪ストーブが炊かれテーブルがある。外には大きな煙突が出ていた。



家族5人で来ているそう。「へえ～ うらやましい～」の一言。

山から下りてきたタイミングで雪が雨に変わった。予定より1時間早いペースの下山だったが、雨に濡れないことを配慮してのリーダーさんの判断だったんですね。有難うございました。

今回の山行では終始メンバーの話声や笑い声が聞こえていて、地元の山ということもあってか皆さんとてもリラックスして楽しんでいらっしやる明るいパワーを感じました。

同行させていただき有難うございました。



## ■御津アルプス縦走 穏やかな瀬戸内を歩く

- 日 程：1月28日(日)
- 参加者：La 砂川(延) SLa 大谷 香川 兼澤 金島 狩集 河合 木村 島本 砂川(美)

Lb 和田 SLb 西口 荘所 谷口 高島 廣岡 待場 森本 矢根 山下(雅)

- 行動記録：JR網干駅 8:15 発～中島登山口(9:05 着)9:15 発～黒塚山 9:55～北山(11:30 着)11:40 発～碓岩駐車場 12:30 シャトルバスー牡蠣祭り会場(12:40 着)13:15 発ーシャトルバスー山電網干駅(13:30 着)

### ♣♣御津の山から牡蠣祭りへ

### 香川

前日、午後4時の天気予報のお知らせメールが気象担当のWさんから届く。山行中は曇りとのこと。

当日はやはりどんより曇り空。JR網干駅に集合し、駐車場でストレッチ。「登山口までは、40～45分、一般道を歩くので広がって歩かないように」とリーダーの注意事項を聞き、8時15分出発。南西方向に歩き、揖保川にかかる王子橋を渡り中島登山口のある石見神社に到着しました。

神社でトイレを借りた後10人ずつ2班に分かれて神社の裏山から獣の柵を開けて登り始める。

樅の木の落ち葉が積もり歩きにくい。そしていきなりの急登、ロープがあり20分程で尾根筋に出て展望が開けました。雑木林をしばらく行くと古墳が現れ始めました。登山道には赤いテープがあり解り易い。

黒塚山～権現山～北山。途中、シダが生い茂ったり雪が舞いだしたりしましたが、楽しい。

11時半、今回の最高峰201mの北山で集合写真を撮って急斜面を下って行きました。

碓岩駐車場から12時半シャトルバスに乗せてもらい、10分ほどで室津牡蠣祭りの会場である綾部山梅林の駐車場につきました。しかしすでにカキオコは完売、焼き牡蠣・牡蠣汁のテント前には長蛇の列ができていました。小雨も降り出したので、牡蠣入り麺なし焼きそば(そばは売り切れたそう)等を食べ、予定より早くシャトルバスに乗り込み山電網干駅まで帰りました。

網干在住の私は、JR網干駅集合は嬉しく、御津の山にも登って見たかったので、大満足でした。

牡蠣祭りは網干のエコパークでも2月に入ると開催されるので、またお越してください。

次回は北山から西の御津アルプスにも登ってみたいです。シャトルバスに感謝！企画してくださったリーダーに感謝です。お世話になりました。



### ◆◆御津連山を登って牡蠣祭り

### 山下(雅)

JR網干駅に全員が揃ったところでスタート。駅を出た所の駐車場の一角でストレッチを行った。その後中島登山口まで1時間ぐらい歩いて行くので「広がって歩かないように」と言われ出発した。道路を50分ぐらい歩いたところで登山口に到着。休憩を取ってから登山開始。



まずは黒塚山へと山道を登って行った。山道は歩きやすく次の権現山についた。権現山の登山道に沿って歩いて行くと古墳が何か所かあった。それらを見ながら進んで行くと舗装された道に出て、次の奥山へと向かった。ここからの山道は、あまり歩いていないのか草が長く伸びていた。

此処を抜けて北山についた。北山で集合写真を撮り下山することになった。北山からは、下りが急になっていて滑らないように気を付けて下りて行った。

下山した後は、もう一つの楽しみ室津の牡蠣祭り。おなかも減りシャトルバスの出る所に向かって歩いていると、バスが駐車場に入っていくのが見え待つことなくバスに乗る事が出来た。



会場で集合時間を決め解散した。食べたいものは多くの人が並び、ほかのところは品数が少なく売切れで予定時刻より早く帰ることになった。

リーダーさんそれから参加者の皆さん。山行にご一緒させていただきどうもありがとうございました。



## ■六甲全山縦走トレーニング

- 日 程：2月4日(日)
- 参加者：L 森本 SL 赤木 尾越 垣内 須増 土井 福田 前川(克) 山下(雅)

- 行動記録：須磨浦公園駅 6:18 発～須磨浦展望台(6:43 着)6:50 発～梅尾山頂(7:20 着)7:22 発～高倉団地(7:42 着)～須磨アルプス(8:10 着)～妙法寺(8:50 着)8:55 発～高取山(9:45 着)9:50 発～神鉄鶴越駅(10:35 着)～菊水山(11:40 着)11:50 発～鍋蓋山(12:42 着)12:47 発～大竜寺(13:10 着)～市ヶ原(13:30 着)13:35 発～摩耶山(15:10 着)15:20 発～ロープウェイ(15:40 着)

## ◆◆六甲全山縦走トレーニング感想

山下(雅)

当日は、寒い中を始発電車に乗り集合場所の須磨浦公園に向かった。駅についた所で、ストレッチを行い6時過ぎのスタートとなった。出だしの須磨浦展望台までの登りはいつも息が上がって付いて行くのがしんどくなるが、ついた所で小休止を兼ねて集合写真を撮ったので新たな気持ちで次へと向かった。



旗振山やおらが茶屋を過ぎると長い下りが続き、その先の橋を渡って高倉団地についたがそのまま団地を抜けて次へと向かって行く。今度は長い階段の登りになり遅れないように登り須磨アルプスへと向かう。馬の背では滑らないように気をつけながら進んでいき妙法寺についた所で休憩を取り一息入れてから次の高取山までいった。

ここで2組に分かれて行く事になり先に進んで行ったが、歩いているうちに右足の股関節が痛くなってきたので後の人たちと行けばよかったと思いながら丸山市街地を歩いていると、痛みが治まって来たので何とか先に行けるかなと思っていたが、鍋蓋山へと向かう途中で今度は、足がつっ

て上がらなくなってしまい遅れながら何とか登って行ったので他のメンバーに迷惑をかけてしまった。

ここで後ろの人たちを待たせようかと思ったが、この先は下りだから市ヶ原まで行けば下山することができるということで、リーダーの後ろについてスタートした。最初のころは、そんなに足の痛みを感じなかったが、登りになるとやはり足の動きが鈍くなりながら大竜寺を過ぎ市ヶ原まで行く事が出来た。ここでもう1人と一緒に下山することにした。今回のトレーニングでは、リーダーや山行メンバーに迷惑をかけてしまい反省しています。今日は、どうもありがとうございました。

## ◆◆リーダー代理の森本の追記

寒風が吹く寒い中を市ヶ原から天狗道経由摩耶山に5名で向かった。だらだらの天狗道では積雪もなく無事歩を進めたが、頂上のNHKの電波塔付近では前日の雪で路面が凍結しており、滑って安心して歩を進めない状態であった。掬星台で下山の意見が多数あったが、この先の状態を確認して判断することになり車道に向かったが、降り口の階段も凍結しており摩耶ロープウェイで下山することにした。やはり2月の六甲全山縦走はかなり困難であった。



## ■マキノ(滋賀県高島市) ゆっくりリズム山行 メタセコイア並木を歩く

- 日 程：2月4日(日)
- 参加者：L 藤原(千) SL 澤田(律) 内海 大野 木下 黒本 澤田(卓) 平井 舛賀 松浦 矢根 吉村
- 行動記録：マキノ駅(9:26着)9:50発～ピックランド(10:38着)11:00発～メタセコイア並木出口(12:00着)～マキノ高原(12:10着)15:20発～マキノ駅(15:45着)

## ◆◆メタセコイア並木とマキノ高原散策

木下

新快速電車で姫路駅からマキノ駅まで乗り換えなしの2時間48分の旅でした。トイレに近い前から3両目を集合車両に指定したリーダーの配慮に感心しました。乗り換えなし、座席にすわったままの車中は楽でしたが、帰りのマキノ高原温泉「さらさ」からマキノ駅までのバスは超満員で、おまけに到着が遅れ、帰りの電車の時刻にぎりぎりとなったときには焦りました。

山行計画書をもらった時点で、「なんやこれは、山登りではないじゃないか」と目を疑いました。

湖西線ぞいの低山の雪山歩きを予想していたのですが、もらったのはメタセコイア並木の平坦な道を歩くコースでした。もっと正確な情報を得て山行プランに応募すべきだったと後悔しました。しかし、天候にも恵まれ、車窓からは雪に覆われた近江今津の800mから900mの山並みがくっきりと見られ、高島トレイルと呼ばれるコースがあることも知りました。ここを歩く計画があればぜひ参加したいと思いました。メタセコイアの並木と、一面の





雪景色を眺めながらのアイゼンを履いてのウォーキングも印象に残り、「さらさ」での入浴と合わせ楽しませてもらえました。

マキノ駅前の広場で9:30からストレッチ、その後、藤原リーダーより今日の行程の説明があり出発。この日、播磨南部では気温が低く強風が吹いていたようですが、湖西線沿いは風もなく快晴の好天気でした。夏場はキャンプ場にもなるメタセコイア並木道の起点のピクランドへはバスを使わず徒歩で行きました。20分ほど休憩し、11:05にアイゼンを装着してマキノ高原に向けて出発しました。ところどころに別荘やペンションへ行く道を見ながら、歩道に積もった深い雪の中、またアスファルトの上を歩きました。幾本となく連なる太い幹をもつメタセコイアの木を見ながら、何十年先を見据えて、この木の幼木を道沿いに植えた先人に思いをはせました。

マキノ高原スキー場はファミリー向けで、快晴の下で親子づれが歓声をあげ雪遊びを楽しんでいました。スキー場周辺を30分ほど散策し、「さらさ」に入浴後、15:18発のバスでマキノ駅まで行き10分遅れで入ってきた電車に乗り、近江今津で待っていた新快速電車に乗り換えて帰路につきました。

藤原リーダーごくろうさまでした。参加のみなさんお疲れ様でした。



## ■檀特山・京見山・白毛山 女性委員会山行 姫路市南西部の山を歩く

- 日 程：2月7日(水)
- 参加者：L澤田(律) SL木村 香川 田中(美) 田中(由) 苦瓜 藤原(千) 松浦
- 行動記録：JR網干駅 8:40 発～朝日山駐車場(8:45 着)9:00 発～檀特山山頂(9:40 着) 9:55 発～山戸登山口(11:00 着)～128m(11:35 着)京見山(12:00 着)12:30 発～泣き坂峠(12:50 着)～白毛山(13:20 着)13:30 発～トンガリ山(13:45 着)13:55 発～才神社(14:20 着)14:30 発～JR英賀保駅(14:50 着)

### ♣♣檀特山・京見山・白毛山山行に参加して

田中(由)

気温-5度で今年一番の寒い日の里山山行・・・雲一つない晴天で風も無く暖かいとは言えないまでも歩きやすい日でした。

今回の山行は土曜トレで行く檀特山と、いつも近くで見ている京見山なので楽しみにしていました。山道は整備されていて標識も行き届き、アップダウンもさほどきつなく歩きやすい道でした。多数の古墳を見ながら木漏れ日の樹林帯を行くとやがて開けた京見山山頂に・・・。

京見山でのお弁当の時も風も無く陽が差して暖かでした。

京見山から泣き坂峠(秀吉の播磨攻めで農民たちが北にある原集落へ泣く泣く逃げた事から呼ばれている)を経て、歴史を感じながら白毛山へ。



高御位山と同じ年(2011年)に京見山も山火事になり、白毛山・トンガリ山にまで広がり其の後、植林もされて無かったのでハゲ山でした。トンガリ山からの下りは急でしたがL澤田さんの「気をつけて～」の一声でみんな慎重に下山!楽しい里山山行も無事に終わることが出来ました。

澤田さん、木村さん、お世話になりました。



## ★高森ボランティア活動報告

報告者：砂川(延)

- 日 時：2017年12月26日(火)
- 場 所：長尾登山道上部トラバースルート
- 参加者：上田 澤田(律) 荘所 砂川(延) 待場 松本 三木(悦) 和田

作業は長尾からの登山道、大きな岩盤の上、直登コースの分岐点からトラバースルートを中心に草刈りと雑木の整理作業を行い、非常に歩きやすくなっています。手作業で先行して草を刈り、後から荘所さんが草刈り機で綺麗に仕上げてくださいました。

これで、元旦の登山も参拝者に気持ち良く歩いてもらえるようになっています。作業は昼前に終わることができました。みなさんお疲れ様でした。

- 日 時：2018年1月13日(土)
- 場 所：長尾登山道上部トラバースルート
- 参加者：上田 内海 貝塚(文) 荘所 藤原(千) 待場 山本(正一) 和田

年末の26日に行った長尾からのトラバースルートの草刈りした場所を中心に、登山道の雨水の流れによる浸食を防ぐために、雨水の流れを変えるための溝切り作業を行った。

午前11時頃に作業を終え下山しました。

※長尾から高御位山へのトラバースルートの岩場にロープを設置。

13日の作業時にロープの設置場所を決めていた所に、後日、内海さんと島本さんがロープの設置作業を行い、岩場場所の通過に不安な箇所に安全ロープが設置されています。

